

令和元年度 第1回角田市総合教育会議

日 時 令和元年7月23日(火)
午後1時15分～
場 所 301会議室

次 第

1 開 会

2 開会あいさつ(市長)

3 協 議

・角田市学校適正規模適正配置に関する将来構想(検討たたき台)について

4 そ の 他

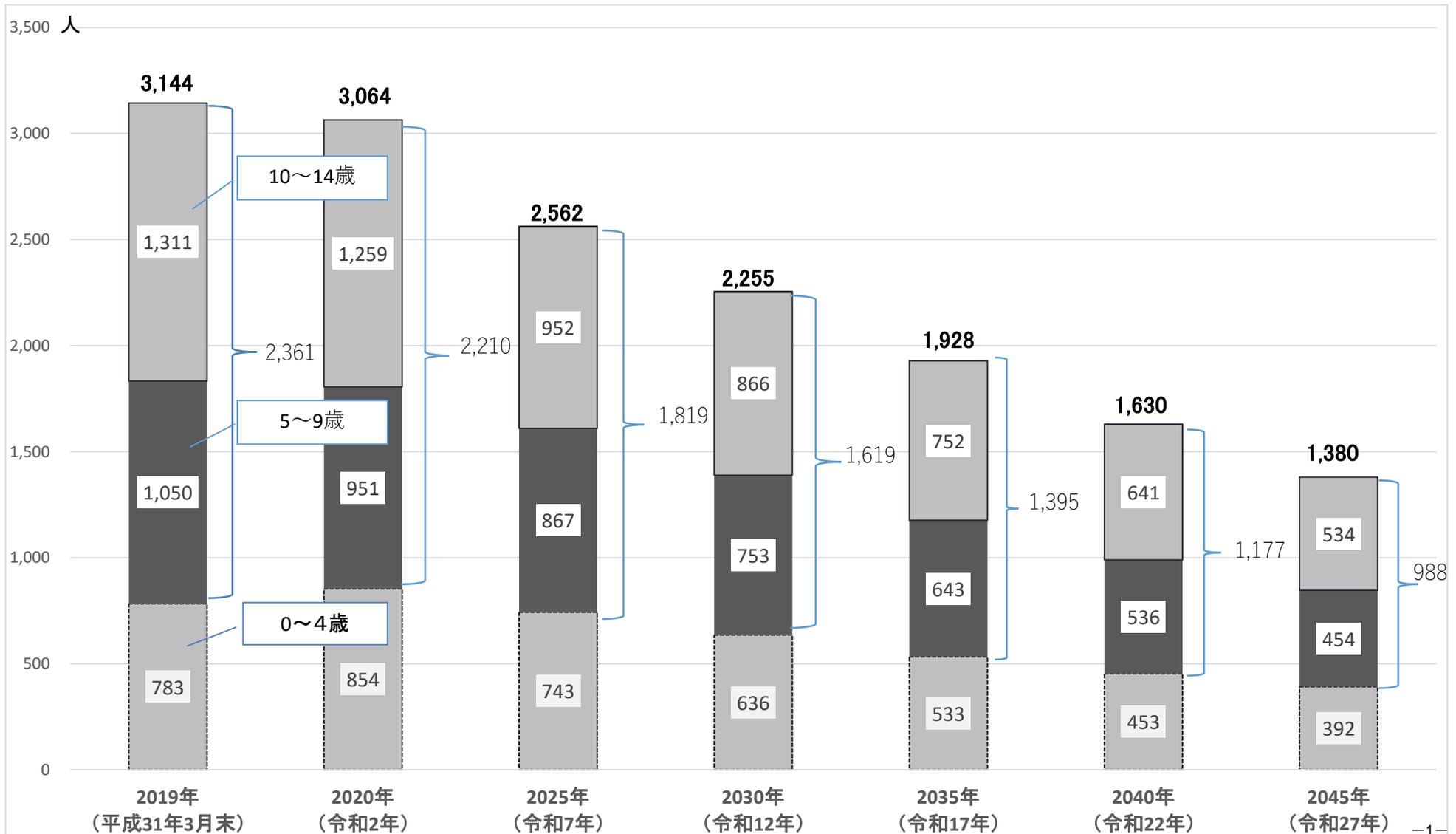
5 閉会あいさつ(教育長)

6 閉 会

角田市学校適正規模適正配置に関する将来構想
(検討たたき台) について

0歳～14歳（5歳刻み）の将来人口推計【国立社会保障・人口問題研究所（H30.3）】

（2019年値は、3月末住民基本台帳人口）



角田市学校適正規模・適正配置に関する将来構想【具体案(検討のたたき台ベース)】

年度 学校名	~	H21	~	H23	~	H29	H30	R元	~	第1次行動計画 R3.4~	~	第2次行動計画 R5.4~	~	第3次行動計画構想 R10~15				
角田小学校	---	---	---	---	---	学校適正規模・適正配置に関する検討準備 人口減少・少子化等に関する課題を住民・保護者等説明	角田市学校適正規模検討委員会設置 角田市学校適正規模に関する将来構想見直しに係る基本方針策定	(仮称)新角田市学校適正規模等将来構想策定	---	---	---	---	---	◇今後の少子化の状況を定期的に検証し、構想を見直す。 ◇市財政状況等により計画期間を見直す。				
小田小学校	---	---	H23.3.31 角田小学校と統合	---	---				---	---	---	---	---		---	---	角田小学校 横倉小学校を統合し 角田小学校	
横倉小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---		
枝野小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	枝野小学校 藤尾小学校を統合し 金津小学校	---	
藤尾小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---			
東根小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	---	---
桜小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	桜小学校 北郷小学校を統合し 北角田小学校	
北郷小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---			
西根小学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	---	---
角田中学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	角田中学校 北角田中学校を統合し 角田中学校 (旧角田女子高跡地に新設)	
金津中学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---			
北角田中学校	---	---	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	---	---
西根中学校	---	H21.3.31 北角田中学校と統合	---	---	---				---	---	---	---	---		---	---	---	---

年度及び学年別児童数の推移【児童数はR元.5.1現在、未就学児はH31.4.1現在】

◇枝野小学校

令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度								
学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数	学年	児童数	学級数						
転出 全児童数73 1年 8→7 4年 16→15 ↓															1年 5											
															1年 6			2年 6			3年 5			4年 6		
															2年 5			3年 8			4年 8			5年 6		
															3年 8			4年 6			5年 7			6年 7		
1年	8	1	2年	7		3年	7		4年	7		5年	7		6年	7		特支	0							
2年	11	1	3年	11		4年	11		5年	11		6年	11		特支	0										
3年	8	1	4年	8		5年	8		6年	8		特支	1													
4年	16	1	5年	15		6年	15		特支	1																
5年	20	1	6年	20		特支	2																			
6年	10	1	特支	2																						
特支	2	2																								
合計	75	8	合計	70	0	合計	56	0	合計	48	0	合計	45	0	合計	39	0	合計	37	0						

◇西根小学校

令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度								
学年	児童数	学級数																								
															1年 4											
															1年 6			2年 6			3年 6			4年 6		
															2年 6			3年 2			4年 2			5年 2		
															3年 2			4年 2			5年 6			6年 6		
1年	8	1	2年	8		3年	8		4年	8		5年	8		6年	8		特支	1							
2年	8	1	3年	8		4年	8		5年	8		6年	8		特支	1										
3年	5	1	4年	5		5年	5		6年	5		特支	1													
4年	19	1	5年	19		6年	19		特支	1																
5年	9	1	6年	9		特支	1																			
6年	18	1	特支	1																						
特支	1	1																								
合計	68	7	合計	56	0	合計	49	0	合計	32	0	合計	33	0	合計	31	0	合計	27	0						

第9回角田市学校適正規模検討委員会グループ別討議概要

■傍聴に関する協議について

傍聴可 角田中、北角田中

傍聴不可 金津中

■討議要旨

①統廃合のたたき台について

- ・ たたき台があれば議論がしやすくなる。このたたき台は考えていた通り。
- ・ たたき台はいい案だと思ってみている。一番右端の第3次行動計画案については今ここで意見を交わす案では無いのかなと思う。意見を交わすのはもう少し置いてからでも遅くないと思う。第1次行動計画はいい案が出てきたと思った。ここから削除するところは削除する肉付けするところは肉付けして進んでいくのではないかなと思う。
- ・ 2期にしないで一気にやってもらいたい。何回もしないで1回でしてほしい。それが一番負担をかけない。PTAの方たちも納得しやすいと思う。
- ・ 段取りの角田中学校を先に作って、その後に北角田小学校にすればよいと思った。中学校を前倒しすれば楽にいくのかと思った。流れ的にそうすれば小学校は1回で済むと思う。
- ・ 1次行動計画、2次行動計画はなぜ2つに分かれたのか。1次行動計画のR3ということからすると、中学生だと今の1年生が3年生になるときは統合になることから、もう1年くらい先でもいいと思う。
- ・ 将来の話ですが角田女子高の跡地というのは特別土地を求めることよりもいいのではないかな。第3次は流動的で人口がもっと減れば前倒ししなければならない。いろんな余地がある。
- ・ 中学校は、インフラ的にも角田地区にもっていった方がいいと思う。北角田中学校ではケーヒンの帰りと中学校の送迎が重なり大渋滞になる。特に東根橋の交差点のところは渋滞になる。渋滞も緩和される。
- ・ 中学校が一つになると子供たちの成長が促されるのではないかな。今の中学生は体格はいいが精神的に幼く感じる。大人数になれば人とかかわりも増えるのではないかな。
- ・ 角田市内の中学生の人数が大きく減るような状況であれば、角田女子高跡地に移設の必要はないのではないかな。
- ・ 中学校が最終的に1つになるのか2つになるのかはもっと委員会で議論すべき。
- ・ 金津小学校は統合後も少人数の学校になる。子供たちのことを考えるなら、この状況を解消すべきではないかな。

- ・ 金津中は築60年になるが、改造できても数年しか持たないのであれば、新築すべきではないか。
- ・ 金津中が角田中と統合することに、角田中側には理解されていないのではないか。
- ・ 中学校に小学校が統合する場合は、児童に合わせて校舎の改造が必要。
- ・ 統合するまでの間、複式学級の方に先生を多めに配置してもらい弊害をなくしていただければ遅くなくても仕方がないと思う。
- ・ 北角田小学校にするととなると体育館が古い。作り直さなければならない。

②小中一貫教育について

- ・ 小学生と中学生を持つ親として見れば、片方はまだまだ子供で片方は大人と言っても良く、同じ学校にいるというのが信じられない。
- ・ 小学校6年生という最高学年や中1ギャップなどの荒波を経験することなく、9年間同じ学校に通った子どもが高校受験して大丈夫なのかという思いはある。小中一貫校についてはデメリットの方が多い印象を受ける。
- ・ 義務教育学校はわからなかった。先生方の配置がうまくできて運用できるのか疑問だった。
- ・ 小中一貫校はなかなか難しいと思う。小学校 1 年生の時を思い出すと 6 年生は大人に見えた。まして 9 年生にはついていけないのではないか。中高一貫校の卒業生としては中高だと差はない。小中は無理があるように思う。
- ・ 隈東に小中一貫校の設置を考慮すべき。
- ・ 第 3 次行動計画前に改めて見直しをかけるのであれば、折角本日小中一貫校の講演等もあったことから、設置について考えるべき。
- ・ 現在のたたき台には小中一貫校について触れられておらず、検討を要するのではないか。
- ・ 義務教育学校でうらやましいと思ったことは小学校教員の授業時数が少ないことだ。小学校教員は今空き時間がなく、トイレに行く暇も無いほどだ。中学校の教員が入って小学校の授業を一部受け持ち、その結果空き時間ができるのはうらやましい。

③今後の議論の進め方に関することについて

- ・ 学校適正規模も 9 回行われ、みなさんから丁寧に意見を聞いて議論を重ねてきたが、これは今年中に結論を出さなければならないとすれば駆け足で物事を進めていかなかったら 12 月はあつという間だ。10 月ころは方向性決めなければならない。そういう意味でたたき台を出したと思うが、これを地区に行って説明しなくてはならない。いろいろ準備もあると思うが、いつまでも同じ議論をしてもしょうがない。
- ・ 小学校 3 つ、中学校 1 つというのは広く市民にお知らせしているので驚かないと思う

が、中学校で今の1年生が3年生のときに統合というのは驚かれると思う。

- ・ スクールバス(経路等)と学区割の見直しなどは同時に考えるべき問題。どこを論点(統合の場所・時期など)にして住民等に説明するか検討が必要。
- ・ このたたき台に対して、この案でなければならないということではなく、広く意見を聞いていただければと思う。

④その他

- ・ 第3次行動計画までのたたき台は単なる人数合わせ、夢がない。住民の思いをもっと吸い上げるべき。複式学級を解消するだけの案では消極的ではないか。
- ・ 今回示されたたたき台を保護者に提示し、議論したうえで意見を集約する必要がある。
- ・ 5~10年先の話だと思っていたのが2年後となると、時間と回数をかけて話し合いをしてきたのに唐突だという反応が保護者や地域から出なければよいが。
- ・ 令和3年度から統合というのは、学校現場は対応できると思うが、住民の理解を得ることが大事ではないか。

- ・ 角田小学校の便器は和便器が多く子どもたちが使いづらいという話を聞く。
- ・ 角田中学校にはプールの授業がなく、泳げないまま大人になる子がいる。プールの授業はあった方がいいのではないか。
- ・ 行政区、子供会などは今後どうなっていくのかとを感じる。統廃合過渡期の保護者は大変だなと感じる。

- ・ 西根中学校が北角田中学校と統合になってから若い人たちは西根から離れて、大河原や柴田町に家を建てている。そのため、ますます人口減少に拍車がかかる。ますますこれで人口減少に歯止めがかからないのではないか。

- ・ PTAだけの説明会だったが、今のPTAの人たちは子どもの卒業のことを考えると適正規模等の課題に意識が向かなくなる。PTAだけでなく地区全体での説明会を検討してほしい。

角田市学校適正規模・適正配置に関する将来構想【具体案(検討のたたき台ベース)】の考え方

◆これまでのこの検討委員会での議論、アンケート調査の結果を踏まえての考え方として

1 急激な人口減少、少子化を現実的なものとして将来の教育環境を考える

- 平成30年度の出生者数 154人、死亡者数 487人
- 角田市の人口は、今月28,000人台に(令和元年6月末住民基本台帳人口29,011人)
- ◎ 0歳～14歳人口推計は、平成31年3月末 3,144人⇒令和17年 1,928人(H31.3末比61.3%)
令和27年 1,380人(H31.3末比43.9%)

2 学校は、一定規模の集団教育ができる環境が望ましい

- 今年度、東根小学校は、完全複式学級化
枝野小学校は、令和3年度に一部複式学級、令和5年度に複数の複式学級を想定
西根小学校は、今年度一部複式学級化(加配教員で解消)、令和3年度に複数の複式学級
令和4年度に完全複式学級化
- ◎ 複式学級での教育環境の改善



- 小学校・・・クラス替えが可能な規模(当面の対応として複式学級の解消)
- 中学校・・・クラス替えが可能な規模(免許外教科担任教員による授業の解消、部活動の充実)

3 大規模な施設整備(新設・大規模改修等)は、将来の児童生徒数を見据える